

こほくとしょかん

江北図書館だより

<発行> 公益財団法人 江北図書館

2018(平成30)年 11月 11日 発行

〒529-0425 長浜市木之本町木之本 1362

☎・fax :0749-82-4867

第19号

ホームページ : <http://www.geocities.jp/kohokutoshokan/>

開館時間 午前 9:30~午後 5:00 (日曜日は午後 2 時まで) 休館日 毎週月曜と第1・3日曜祝日

地域の皆さんに支えられて

理事長 富田光彦

地域の皆様には、日頃から江北図書館の運営に、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年、6月の大阪の地震以来、豪雨、炎暑、台風、そしてまた北海道の地震と、うち続く自然災害に、自然の猛威と人間の無力を改めて痛感させられました。とりわけ、台風 21 号の通過により、当地域でも大きな被害が出ました。関係の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

台風当日は、当館でも来館者の安全確保の観点から、途中閉館とさせていただきました。一通りの台風対策はしていたものの、閉館後、2階を中心とする窓ガラスや屋根瓦の破損、正面玄関のドアの損壊、それらによる雨の吹込み等の被害が次々に起こりました。

暴風雨のさ中、ご近所の方から被害発生の連絡を受け、台風通過後は、忙しい中優先的に修理に来ていただいた皆様のご厚意により、応急処置を施していただくことができました。やはり当館は、地元の皆様に支えられているのだと再認識し、改めて感謝申し上げます。

今後、耐震措置も含めて、抜本的な災害対策について協議しなければならないと考えています。それには、皆様のお知恵やお力が不可欠です。今後ともどうぞご支援を賜りますようお願いいたします。



木之本ライオンズクラブ 今年も図書寄贈

「我々は奉仕する (we serve)」をモットーにした木之本ライオンズクラブは、昭和 40 (1965) 年以来、半世紀以上、当館に図書の寄贈を続けていただいています。今年も読書にふさわしい「文化の日」にご寄贈くださいました。



長年にわたる地域文化へのご貢献に敬意を表すとともに、途切れることのないご芳情に、衷心より感謝申し上げます。これからも、どうか温かいご支援を宜しくお願い申し上げます。

写真は目録贈呈の様子 (写真中央が会長の田中氏と富田理事長)

当館ゆかりのおふたりが受賞 ～平成 30 年度文化勲章・文化功労者～

平成 19 年 10 月 28 日に開催された、当館創立 100 周年記念式典で来賓として祝辞を頂いた、元京都大学総長で、当時は国立国会図書館館長の長尾 真氏が、文化勲章を受賞されました。また、記念講演をしてくださった、当時の日本ペンクラブ会長の阿刀田 高氏が文化功労者として顕彰されました。

当館とご縁のあるお二人の慶事に心よりお祝いを申し上げるとともに、日本を代表するこうした文化人が、当館を応援してくださっていることに誇りを感じます。

マインドマップで感想文！！

今年も、7 月 24 日（火）～28 日（土）と 7 月 31 日（火）～8 月 4 日（土）の 10 日間、読書感想文教室を開催しました。実人数 112 名、延べ 194 名の参加がありました。ほとんどが旧伊香郡の参加者ですが、遠くは千葉県からの参加者や、東近江市から 3 年連続での参加者もありました。

6 割がリピーターで、すぐに取り組みだし、半日で仕上げる子もいました。初めての子でも夢中になって取り組み、お母さんが迎えに来られたとき、「できたよ！」と、うれしそうに見せ、お母さんは「うっそー！」「この子がまさか出来るとは？」とうれしそうに子どもを抱きしめていました。中には 3 日で仕上げた子もいました。どの子も仕上げた時の満足そうな顔が素敵で、今年も開催してよかったと、こちらも達成感を味わいました。

今年の課題図書の中には、虫が登場する絵とわけの分からない会話文しか書いてない絵本がありましたが、「何と言ってるのかな？」と問いかけると次々に「何だろ？これ。」「芋虫さーん。」等の言葉が出てきて、面白い感想文が書けました。



「日本歴史入門講座」開催（木之本まちづくりセンターと共催）

9 月 13 日から 10 月 18 日まで、明定館長を講師に 6 回講座を開催しました。



奈良時代の人口はどれくらいあったと予想しますか。選択肢のなかから選び、正解は、研究者の研究結果や統計でしめされます。1721 年の日本の人口は、という問題が続きます。歴史人口学的な視点で歴史をみていこうということです。江戸時代から平成までの人口はどう変化したのか、を学びました。江戸時代のイメージが新しくなります。「お金の歴史」、これは古銭の値段を見ながら、「日本の戦争の歴史」については戦死者の数で学びました。受講者 27 人、延べ人数 118 人でした。多くの参加者が何となく思っていた歴史のイメージが、客観的な統計や数字で間違っていたことを体験していただきました。来年 4 月中旬より 5 回講座で「続日本歴史入門講座」を予定しています。